

科目	コーポレート・ファイナンス	担当	鈴木 愛一郎	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

ファイナンスでは企業価値向上の視点からリスク・リターン計測・管理ならびに付随する金融商品を扱うが、本講義では経営者の投資家からの受託責任という視点から企業価値向上の施策を検討する。特に経営者の関与に起因する企業価値の毀損が問題視されている昨今の市場の現況を鑑みて、財務諸表監査の視点を大幅に取り入れた内容を講義する。

具体的には、企業価値向上の施策としての監査ならびに内部統制(とくにその運用評価、評価における実証手続)の必要性、財務諸表の監査における分析的手続、リスク・アプローチなどに重点を置いた説明を行う。リスクアプローチでは統計的な手法に基づく分析についても説明する。

**【履修注意】**

会計学総論を履修していることが望ましい。

**【評価方法】**

定期試験、レポートおよび受講態度による。6回以上の欠席で不合格。20分以上の遅刻は欠席扱いとする。

**【試験について】**

中間まとめ、期末試験

再試験対象者の条件： 疾病、怪我、家庭の事情など特別な事情のある場合に限る。また、いずれの場合も、証明書等を要する。

**【予習・復習】**

予習よりも復習を心がけるように課題を随時与える。

**【教科書】**

購入教科書なし

**【参考書】**

指定なし。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	ガイダンス	コーポレートファイナンスの領域と経営者受託責任の意義
2	経営者受託責任	資本主義の歴史、利害関係者保護制度、会社法の経営者責任
3	財務諸表の構造と関連法規	ストックとフロー、金融商品取引法、会社法
4	利害関係者保護の監査活動	監査役、会計監査人、内部監査組織
5	会計基準と監査基準	GAAP、GAAS、財務諸表と経営者アサーション
6	財務諸表監査の目的	一般目的、特別目的、準拠性と適正表示
7	重要な虚偽表示のリスク	リスクの評価、リスクの識別、運用評価と実証の手続(1)
8	中間まとめ	1-7回の復習
9	重要な虚偽表示のリスク	リスクの評価、リスクの識別、運用評価と実証の手続(2)
10	特別な検討を要するリスク	取引の複雑性、非定型業務の判別、測定の不確実性
11	会計上の見積もりに関するリスク	見積もりの方法に関する考察、目的適合性、正確性
12	経営者の偏向	財務諸表上のアサーション、会計基準との関係、経営者確認書
13	ゴースティングコンサーン問題	継続企業的前提、重要な疑義、重要な不確実性
14	財務諸表の虚偽表示(不正)	不正に起因する具体的なケース、不正要因、違法行為または兆候
15	財務諸表監査の保証業務	四半期レビュー、内部統制監査、金商法関連事項の整理
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ